

この本の使い方

Compaq Presario インターネット PC(以下、プレサリオまたはパソコンと記載します)をお買い求めいただきありがとうございます。この「はじめようプレサリオ」では、プレサリオを箱から出して、モニターやキーボードなどを接続する手順や、そのあとでWindowsをセットアップする手順を説明しています。

なお、そのほかの機能についての詳しい説明は、別冊の「プレサリオ ステップアップ」をご覧ください。また、コンパックおすすめのプロバイダでインターネットに接続するには、別冊の「インターネットらくらくスタートガイド」をご覧ください。

本文中の記号について

この本では、次のような記号を使用しています。

ヒント ▶ パソコンを使用する上で、役に立つヒントです。

重要 ▶ パソコンを操作する上で重要な情報です。

テクニカル サポートについて

詳しいテクニカル サポートが必要な場合は、Presarioのホームページにアクセスしてください。

<http://www.compaq.co.jp/athome/presario/>

また、製品に同梱されている「おまかせサービス&サポート」もご覧ください。

はじめようプレサリオ 目次

■この本の使い方

1 接続のしかた

●接続のしかた	1-2
・パソコンを箱から出す	1-2
同梱物を確認する	1-2
・モニタを接続する	1-3
・スピーカ、マイクを接続する	1-4
・キーボード、マウスを接続する	1-5
・内蔵モデムと電話回線を接続する	1-6
・ACコードを接続する	1-8
・プレサリオの設置例	1-9

2 Windowsのセットアップ

●Windows のセットアップ	2-2
・電源をオンにする	2-2
・Windows へようこそ	2-3
・タイムゾーンを選ぶ	2-4
・契約書に同意する	2-4
・「今は登録しません」を選ぶ	2-6
・日付と時刻を設定する	2-7
・電源をオフにする	2-8

3 はじめてのパソコン

● はじめてのパソコン	3-2
・ マウスの練習	3-2
ソフトを使う	3-4
ペイントでマウスの練習	3-8
ファイルを保存する	3-9
ファイルを開く	3-11
マウスの練習の続き	3-12
上書き保存	3-13
ソフトを終了する	3-15
・ キーボードの練習	3-16
英字を入力する	3-17
日本語を入力する	3-18
数字や記号を入力する	3-20
漢字を入力する	3-21
ファイルを保存する	3-23
ソフトを終了する	3-24
・ 練習が終わったら	3-25
・ 電源をオフにする	3-26
・ ローマ字入力規則表	3-27

本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

Compaq Computer Corporation は、本書中の技術的誤り、および校正上の誤りや脱落、ならびに本書に従って装置を設置、稼動および使用した結果生じる間接的または直接的損害に対して、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本書に記載されている情報は、著作権により保護されています。本書のいかなる部分も、Compaq Computer Corporation から書面による事前承諾を得ていなければ、複写または複製することはできません。

© 2001 Compaq Computer Corporation. All rights reserved. Printed in the U.S.A., Brazil, Canada, Japan, Korea, Singapore, Taiwan, and the U.K.

Compaq、Presario は U.S. Patent and Trademark Office に登録されています。

Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

本書に記載されているソフトウェアは使用許諾書および機密保持同意書に従って提供されるものです。従って、本ソフトウェアの使用および複製は許諾事項に基づきます。

本書に記載されている製品名は、各社の商標または登録商標です。



1 接続のしかた

今、この本を読んでいるあなたは、どんな気持ちでプレサリオを眺めているだろうか。もしあなたが、はじめてパソコンの世界に飛び込もうとしている初心者なら、まず、パソコンで「やりたいこと」を見つけてほしい。「やりたいこと」はきっとできる。そしてそれに向かって進んでいくことが、パソコン上達のいちばんの近道なのだ。

接続なんて面倒くさい、難しい、と思わずに「夢への第一歩」くらいに考えて楽しんでほしい。子供の頃、新しいおもちゃの箱を開けたときの、あのドキメキを思い出しながら。



接続のしかた

重要▶ 本文中の図は、実際のパソコン本体、モニタ、コネクタとは形状が多少異なることがあります。

パソコンを箱から出す

パソコン本体とモニタ、そのほかの付属品を箱から出して、しっかりした台の上などに置きます。落としたりぶつけたりして衝撃を与えないように気を付けましょう。

重要▶ 本体を取り出すときは、衝撃吸収用の発泡スチロールではなく、必ず本体を持って取り出してください。

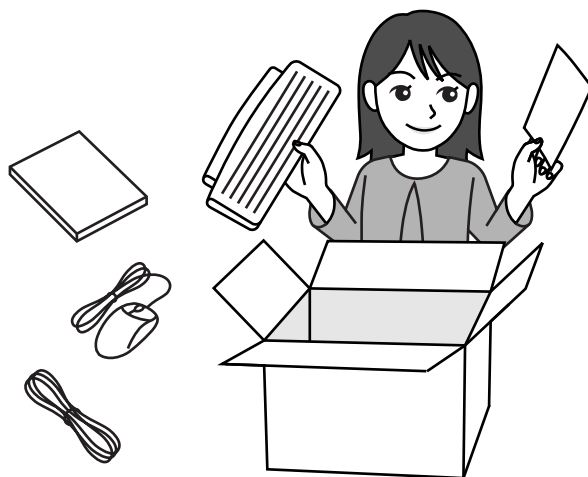
● 同梱物を確認する

パソコンを箱から出したら、同梱物が揃っているかどうか、同梱のチェックリストと見比べて確認してください。万一、不足していた場合は、プレサリオサポートセンター（フリーダイヤル 0120-099-589）までご連絡ください。

重要▶ パソコン本体の保証書は、箱の外側、側面に貼り付けられている「重要書類在中」と書かれた赤い袋に入っています。

重要▶ 保証書や、各アプリケーションの起動に必要なシリアル番号、CDキーなどが書かれている説明書類は大切に保管してください。また、箱を保存しておく、パソコンを運搬するときに便利です。

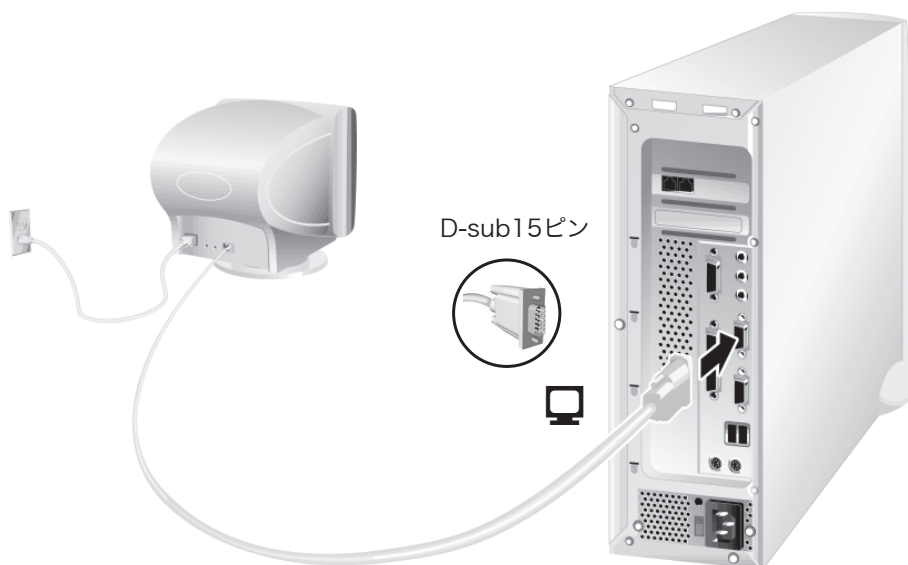
同梱物の確認が終わったら、さっそく接続をはじめましょう。



モニタを接続する

重要 ▶ コネクタの左右の向きに注意して接続してください。

重要 ▶ モニタを接続するときは、モニタの取扱説明書もご覧ください。



- 1 モニタのケーブルを、本体背面のコネクタに接続します。
- 2 左右のネジをしめて固定します。
- 3 モニタのAC電源コードを、モニタに接続します。
- 4 モニタのAC電源コードを、ACコンセントに接続します。

重要 ▶ アース線をACコンセントのアース端子に接続して使用することをおすすめします。
アース端子がない場合は、お近くの電気店などにご相談ください。

スピーカ、マイクを接続する

重要 ここでは、COMPAQ MV540モニタ(スピーカ添付、マイク内蔵)の例を説明しています。それ以外のモニタをご使用の場合は、この本の説明とは異なる場合があります。詳しくは、モニタの取扱説明書をご覧ください。

重要 アンプ内蔵型(電源を外部から取るタイプ)のスピーカが接続できます。



- 1 モニタの取扱説明書にしたがって、スピーカの電源ケーブルを接続します。
- 2 スピーカのケーブルを、本体背面のオーディオライン出力コネクタに接続します。
- 3 マイクのケーブルを、モニタのマイクコネクタに接続します。
- 4 マイクのケーブルを、本体背面のマイクコネクタに接続します。

重要 COMPAQ MV540モニタにはマイクが内蔵されています。マイクが内蔵されていないモニタを接続する場合は、手順3～4は必要ありません。また、市販のマイクを接続する場合は、マイクの取扱説明書にしたがって、本体背面のマイクコネクタに接続してください。

キーボード、マウスを接続する

1



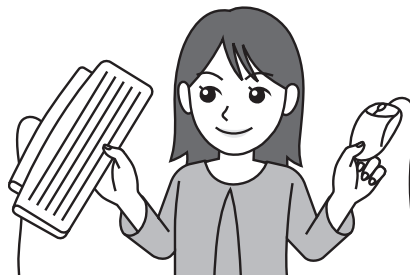
1 キーボードのケーブル(黒いコネクタ)を、本体背面のUSBコネクタに接続します。

重要 差し込むコネクタは  ではなく  なので注意してください。また、コネクタの向きに注意してください。 の描かれた方が、本体背面側から見て左です。

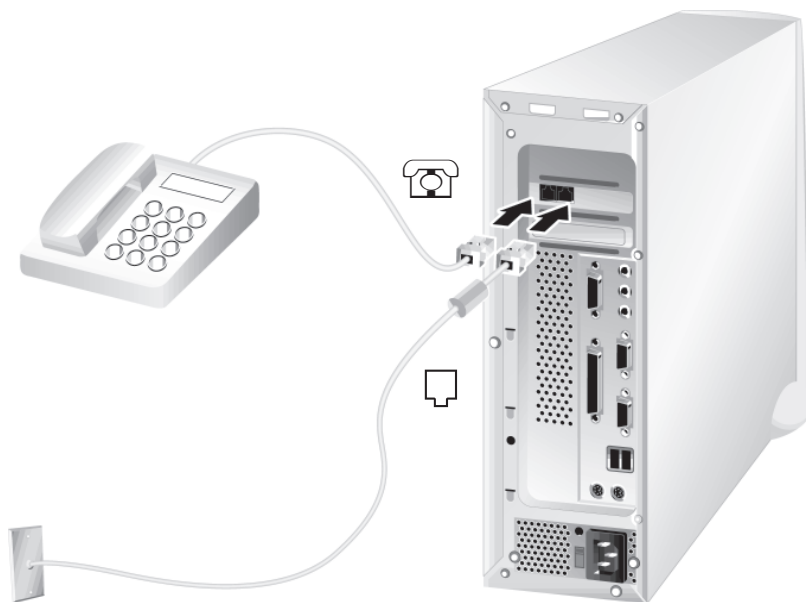
2 マウスのケーブル(緑色のコネクタ)を、本体背面の緑色のラベルが付いたコネクタに接続します。

重要 コネクタの向きに注意してください。矢印の描かれた方が、本体背面側から見て右です。

重要 キーボードとマウスは、本体の電源をオンにする前に必ず接続してください。



内蔵モデムと電話回線を接続する



インターネットを楽しむためには、コンピュータを電話回線に接続する必要があります。

- 1 いま使っている電話のケーブルを、壁のモジュラーコンセントから取り外します。
- 2 いま使っている電話のケーブルを、本体背面のモジュラーコンセント (☎) に接続します。

重要 いま使っている電話のケーブルがモジュラータイプでない場合や、親子電話などを使用している場合は、NTTにご相談ください。

ヒント モデムを接続する電話回線から分岐して別の電話またはFAXが接続されていると、電話回線に影響を与えて接続速度が遅くなることがあります。

ヒント 接続する電話回線のダイヤル種別が「トーン」か「パルス」かを確認しておいてください。あとでインターネットの設定などを行うときに必要になります。プッシュ回線の場合は「トーン」、ダイヤル回線の場合は「パルス」です。

③ 付属品のモジュラーケーブルを、本体背面のモジュラーコンセント(□)に接続します。

④ 付属品のモジュラーケーブルの反対側を、壁のモジュラーコンセントに接続します。

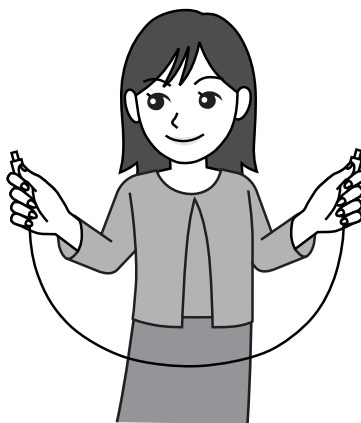
重要 コネクタの向きに注意してください。ツメがある方が上です。また、円筒形の部品がついている場合は、円筒形の部品のついている方を本体に接続してください。

重要 モジュラーコンセントは2つ並んでいるので、間違えないようにしてください。いま使っている電話は、「☎」または「PHONE」と書いてある方に、付属品のモジュラーケーブルは、「□」または「LINE」と書いてある方に接続します。表記はモデルによって異なることがあります。

● ISDN回線の場合

ISDN回線の場合は、別にTA(ターミナルアダプタ)という機器が必要です。市販のTAをご用意ください。接続のしかたは、TAの取扱説明書をご覧ください。

ISDN回線について、詳しくはNTTにお問い合わせください。



ACコードを接続する



- 1 本体のAC電源コードを、本体背面のコネクタに接続します。
- 2 本体のAC電源コードを、ACコンセントに接続します。

重要 アース線をACコンセントのアース端子に接続して使用することをおすすめします。
アース端子がない場合は、お近くの電気店などにご相談ください。

重要 本体背面にある電圧選択スイッチは、出荷時の設定のまま(115V)でお使いください。

プレサリオの設置例

これで接続は終わりました。電源を入れて、Windowsをセットアップしましょう。Windowsのセットアップのしかたは、このあとの「2 Windowsのセットアップ」をご覧ください。





2 Windowsのセットアップ

接続は終わった。さあ、いよいよパソコンが動き出す。何年パソコンを使っていても、新しいパソコンの電源を入れるときはちょっとドキドキする。新しい世界が目の前にひらけてくるような、そんな気分になる。

Windowsのセットアップは、初心者の方にはちょっとだけ難しいかもしれない。でも、画面に表示される内容を眺めたり、時計を合わせたりするうちに、「私のプレサリオ」になっていくことを実感できるに違いない。そうなればしめたもの。自在に使いこなせる日は、もうすぐそこだ。



Windowsのセットアップ

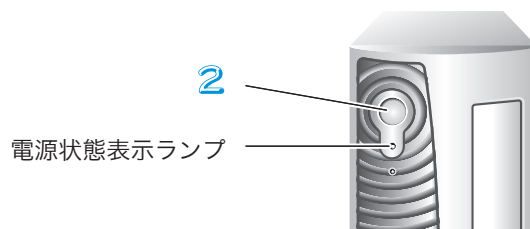
電源をオンにする

それでは電源をオンにして、Windowsをセットアップしましょう。最初に電源をオンにしたら、Windowsのセットアップが終わるまで、電源をオフにしないでください。

1 モニタの電源ボタンを押します。

モニタの電源ボタンについているランプがオレンジ色に点灯します(コンパック純正モニタの場合)。

2 本体前面にある電源ボタンを押します。



電源状態表示ランプが緑に点灯し、コンピュータの電源がオンになったことを示します。電源がオンになると、モニタにはCOMPAQのロゴやWindowsのロゴなど、いろいろな画面が表示されます。次のページの画面が表示されるまでお待ちください。

重要 この本ではWindows Me(Millennium Edition)のセットアップ手順を説明しています。Windowsとは、パソコンを動かすためのソフトウェアと考えてください。詳しくは、別冊の「プレサリオ ステップアップ」の「5 Windowsの使い方」をご覧ください。

重要 本文中の画面は、実際と多少異なることがあります。

ヒント いちどWindowsのセットアップが終わったあとで、何らかの理由でもう一度Windowsのセットアップが必要になることがあります。このようなときは、同梱の「クイックリストアCD」を使います。詳しくは、別冊の「プレサリオ ステップアップ」の「7 パソコンのメンテナンス」をご覧ください。

Windowsへようこそ

本体の電源ボタンを押してしばらくすると、次のような画面が表示されます。



2

Ⅰ マウスを机の上などで滑らせるように動かして、「次へ」にポインタを合わせてクリック(マウスの左ボタンを1回押すこと)します。

ヒント 画面に表示されるマウスカーソルを「ポインタ」または「カーソル」などといいます。

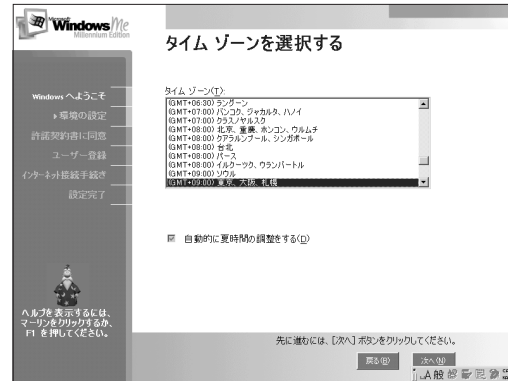
ヒント クリックとは、マウスの左ボタンを1回、カチッと押すことです。押したボタンは、すぐに離してください。

ヒント ヘルプ(説明)の画面を表示するには、画面の左下の「マーリン」という人物の絵にポインタを合わせてクリックするか、[F1]キーを押します。

「タイムゾーンを選択する」の画面が表示されます。

タイムゾーンを選ぶ

次の画面が表示されます。



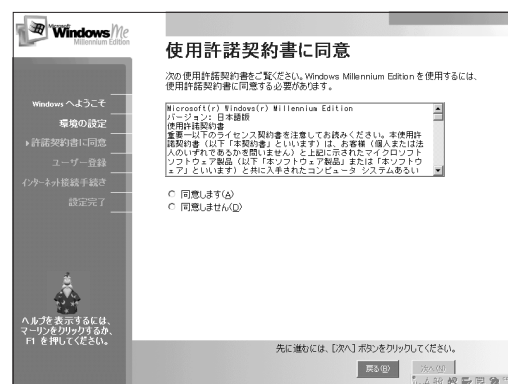
1 表示されているタイムゾーンが「(GMT+09:00)東京、大阪、札幌」になっていることを確認します。

2 「次へ」にポインタを合わせてクリックします。

重要 「タイムゾーンが」「(GMT+09:00)東京、大阪、札幌」になっていない場合は、[▲][▼]キー(矢印キー)を押して変更してください。

契約書に同意する

次に、「使用許諾契約書に同意」の画面が表示されます。



重要 [PageDown]キーを押すと、契約書の続きを読むことができます。契約書の内容をよくお読みください。

ヒント Windowsのプロダクト キーの番号は、自動的に設定されますので、入力する必要はありません。なお、プロダクト キーは本体に貼り付けられています。

1 マウスを動かして、「同意します」にポインタを合わせてクリックします。

「同意します」の左側のがになります。また、画面の下の方にある「次へ」がはっきりと表示され、クリックできるようになります。

2 マウスを動かして、「次へ」にポインタを合わせてクリックします。

「登録先:Microsoft」の画面が表示されます。

重要 「同意しません」をクリックして「次へ」をクリックすると、セットアップが中止されます。この場合は、もう一度はじめてやり直してください。

● マウスの使い方

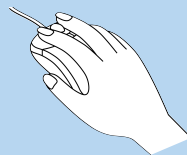
マウスを動かすときは、机の上などの平らな場所で、滑らせるように動かします。市販のマウスパッドを使うと、マウスをスムーズに動かすことができます。

マウスを動かすと、画面上の (矢印)が動きます。この矢印のことを「ポインタ」または「カーソル」といいます。たとえば「「次へ」にポインタを合わせる」とは、マウスを動かして、画面上の「次へ」のところにポインタを重ねることです。

次に、「クリックする」というのは、マウスの左側のボタンを1回、カチッと押すことです。ボタンを押したら、すぐに指を離すのがコツです。

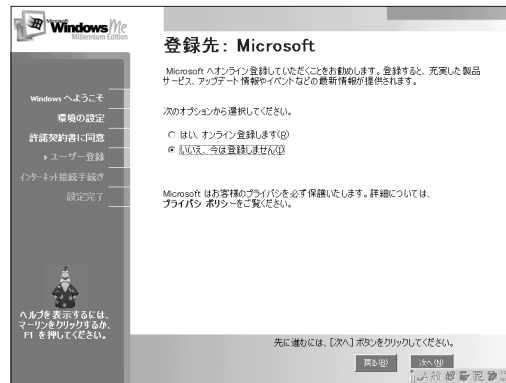
マニュアルの説明で、「○○をクリックする」のように書かれていることがあります。これは、「マウスを動かして、○○にポインタを合わせて、クリックする」という意味です。このような言い方は、アプリケーションのマニュアルや市販の解説書などにもよく出てきますので、覚えておいてください。

このほか、マウスのボタンを2回、カチカチッと押す「ダブルクリック」や、マウスのボタンを押したままマウスを動かす「ドラッグ」などの操作もありますが、Windowsのセットアップでは使いません。詳しくはこの本の「3 はじめてのパソコン」をご覧ください。



「今は登録しません」を選ぶ

次のような画面が表示されます。最初は「はい、オンライン登録します」が選択されています。



1 マウスを動かして、「いいえ、今は登録しません」にポインタを合わせてクリックします。

ここでは必ず「いいえ、今は登録しません」を選んでください。

「いいえ、今は登録しません」の  が  になります。

2 マウスを動かして、「次へ」にポインタを合わせてクリックします。

次に、コンパクトおすすめのプロバイダ
(インターネット接続業者)を紹介する画
面が表示されます。

3 画面の内容を読みます。

4 マウスを動かして、「次へ」にポインタを合わせてクリックします。

「設定が完了しました」の画面が表示されます。

ヒント プロバイダへの加入(契約)は、Windowsのセットアップがすべて終わってから行ってください。詳しくは、別冊の「インターネットらくらくスタートガイド」をご覧ください。別冊の「プレサリオ ステップアップ」の「3 インターネットガイド」をご覧ください。

日付と時刻を設定する

Windowsのセットアップが終わると、次の画面が表示されます。



1 「完了」をクリックします。

次に、「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。この画面では、日付と時刻を設定します。



- 1 表示されている日付と時刻を確認します。正しければ、そのままマウスを動かして「OK」にポインタを合わせてクリックします。
- 2 表示されている日付と時刻が正しくない場合は、次のページの「日付と時刻の設定のしかた」を参考にして設定してください。日付と時刻の設定は、セットアップが終わったあとで、コントロールパネルの「日付と時刻」を使ってもできます。

重要 タイムゾーンが「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」になっていることを確認してください。

● 日付と時刻の設定のしかた

- 1 マウスを動かして、年の右側にある  または  をクリックして、正しい年を表示させます。
 - 2 マウスを動かして、月の右側にある  をクリックします。
 - 3 1月から12月までが一覧表示されるので、マウスを動かして、正しい月にポインタを合わせてクリックします。
- タイムゾーンの設定のしかたも同様です。
- 4 画面に表示されるカレンダー上でマウスを動かして、正しい日付にポインタを合わせてクリックします。
 - 5 時刻の欄に表示されている時の数字にマウスポインタを合わせてクリックします。
 - 6 時刻の右側にある  または  をクリックして、正しい時刻を表示させます。
- 分と秒の設定のしかたも同様です。
- 7 「OK」にポインタを合わせてクリックします。



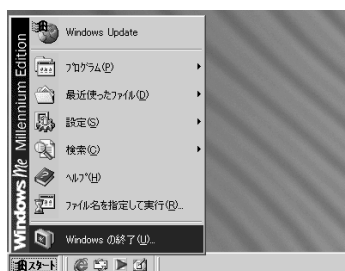
電源をオフにする

次のような画面が表示されれば、Windowsのセットアップは終わりです。

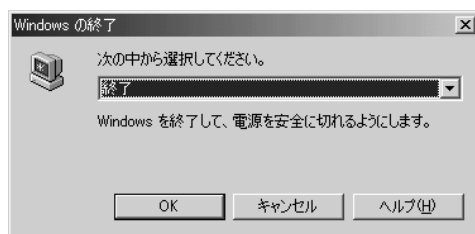


パソコンを使わないときは、次の手順で電源をオフにしてください。

- 1 マウスを動かして、画面左下の隅にある「スタート」ボタンにポインタを合わせてクリックします。
- 2 「スタートメニュー」が表示されるので、マウスを動かして「Windowsの終了」にポインタを合わせてクリックします。



次の画面が表示されます。



③ 「次の中から選択してください。」の欄に「終了」が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、[▲][▼]キー(矢印キー)を押して、「終了」を表示させます。

④ マウスを動かして、「OK」にポインタを合わせてクリックします。

パソコンの電源が自動的にオフになります。

次にパソコンの電源をオンにするときには、本体の電源ボタンを押します。

これでパソコンを使う準備はすべて終わりました。次に電源をオンにしたときから、プレサリオに付属しているワープロやゲームなどのアプリケーションを、自由に使うことができます。

● インターネットを楽しむには

インターネットを楽しむためには、このあと、「プロバイダ」と呼ばれるインターネット接続業者と契約する必要があります。COMPAQがおすすめするプロバイダへの入会のしかたは、別冊の「インターネットらくらくスタートガイド」に詳しく説明されています。すでにいずれかのプロバイダと契約されている方は、プロバイダとの契約内容をプレサリオに登録する必要があります。別冊の「プレサリオ ステップアップ」の「3 インターネットガイド」をご覧ください。必要な設定を行ってください。



3 はじめてのパソコン

あなたがパソコン経験者で、今までにいろいろなソフトを使ったことがあるのなら、この章は読み飛ばしていただいて構わない。このあとは、はじめてパソコンを使う人のためのページである。

パソコン上達のコツは、とにかく使うこと。慣れること。難しいと思わないこと。そうすれば、ワープロ、グラフィック、インターネット……次から次へと新しい世界が見えてくる。

まずは、マウスやキーボードを使いこなそう。たくさん練習して、早く慣れてしまうことだ。この章では、そのささやかなお手伝いをしようと思う。

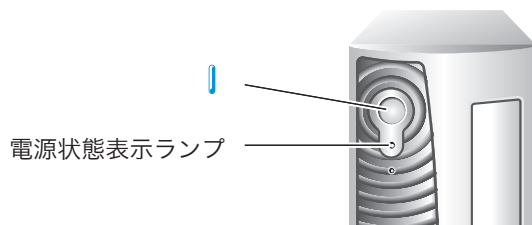


はじめてのパソコン

マウスの練習

パソコンの第一歩は、マウスを自由に使えるようになることです。ここでは、マウスの使い方を練習しましょう。

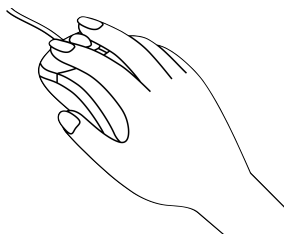
1 本体の電源ボタンを押します。



しばらくすると、次のような画面が表示されます。



2 マウスを図のように持ちます。

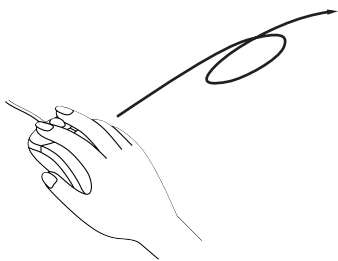


③ 机の上などで、マウスを動かしてみましょう。

ここでは、まだマウスのボタンは押さないでください。

マウスを動かすと、それに合わせて画面上のが動きます。

このを「ポインタ」といいます。マウスをいろいろ動かして、ポインタがどのように動くか確かめてください。ポインタを画面上のどの位置にでも動かせるようになったら、次へ進みます。



● ソフトを使う

画面上のポインタを自由に動かせるようになりましたか？

それでは、何かソフトを使ってみましょう。ここでは、「ペイント」というアプリケーションソフトを使ってみることにします。「ペイント」はWindowsに入っているアプリケーションソフトで、簡単な絵や図形を描くことができます。「アプリケーションソフト」というのは、絵を描いたり、文字を書いたり、といった特定の機能を備えたソフトウェアのことです。ワープロソフト、グラフィックソフト、はがき作成ソフトなどは、みなアプリケーションソフトの一種ということになります。

Ⅰ マウスを動かして、ポインタを画面左下の「スタート」の位置まで移動させます。



このような操作を、「ポインタを「スタート」に合わせる」といいます。このあとの説明や、アプリケーションソフトなどのマニュアルでもよく出てきますので、覚えておいてください。

また、「スタート」は、アプリケーションソフトを起動したり、パソコンの電源をオフにしたりと、いろいろなときに使うボタンです。

② マウスの左ボタンを1回、カチッと押します。

ポインタが「スタート」からずれないように注意してボタンを押してください。マウスのボタンは、押したらすぐに離します。この操作を、「マウスの左ボタンをクリックする」といいます。これもこのあと何度も出てきますので、覚えてください。ふつう、「クリックする」といえば、左ボタンをクリックすることです。

これで、次のような画面になるはずです。





③ マウスを動かして、ポインタを「プログラム」に合わせます。

そのまま少しマウスを動かさないでいると、次のような画面になります。



④ マウスを動かして、ポインタを「アクセサリ」に合わせます。

このとき、マウスをあまり斜めに動かすと、違う画面が表示されてしまいます。まず水平に右方向へ動かし、次に垂直に下方向へ動かすようにしてください。

そのまま少しマウスを動かさないでいると、次のような画面になります。



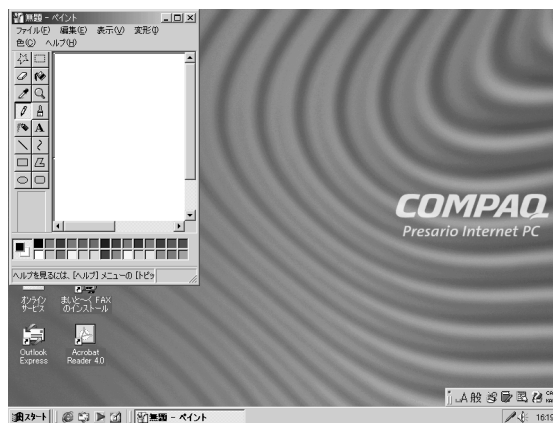
ヒント モデルによって、「アクセサリ」の位置は図と多少異なることがあります。

⑤ マウスを動かして、ポインタを「ペイント」に合わせます。

⑥ マウスの左ボタンをクリックします。



次のような画面になります。



この画面が「ペイント」の画面です。画面中の枠で囲まれた部分のことを、「ペイント」の「ウィンドウ」ともいいます。画面中にウィンドウがいくつも表示できるので、「Windows」というわけです。

このように、「スタート」から順にメニューをたどってアプリケーションソフトの画面を表示させることを、「アプリケーションソフトを起動する」とか「アプリケーションソフトを立ち上げる」といいます。これもよく使う言い方なので、覚えておいてください。

さて、ウィンドウの中の白い部分が絵を描く場所ですが、このままでは少し狭いので、ペイントの画面を大きくしましょう。

7 マウスを動かして、ポインタをペイントのウィンドウの右下の角に合わせます。

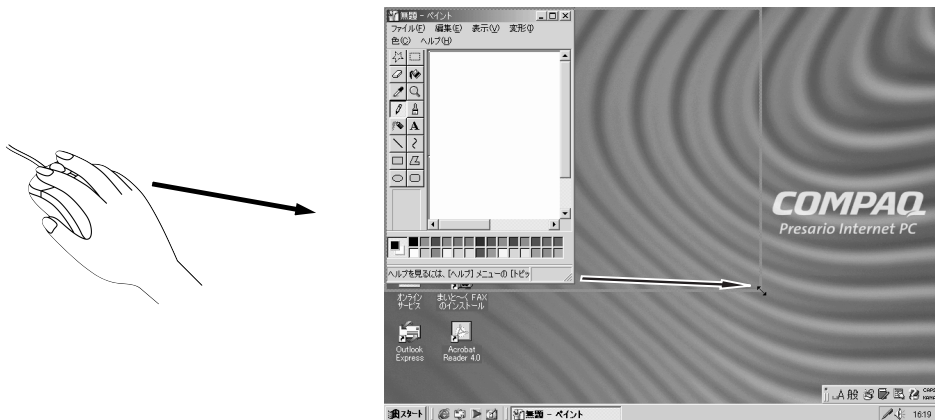
ポインタがの形に変わります。

8 マウスの左ボタンを押します。

このとき、ボタンは押したまま離さないでください。

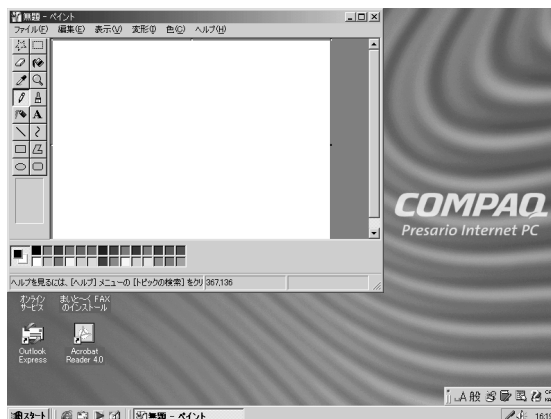
9 マウスの左ボタンを押したまま、マウスを右下の方向に動かします。

図のように、マウスを動かすにつれてウィンドウの枠が大きくなっていきます。



10 ちょうどいい大きさになったら、マウスの左ボタンを離します。

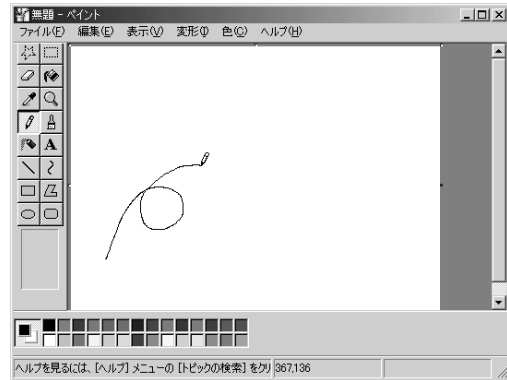
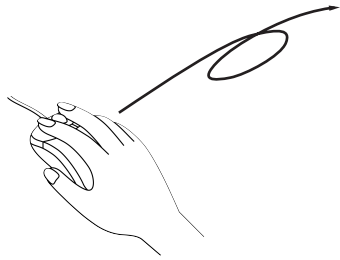
ペイントのウィンドウが大きくなりました。このように、マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かすことを「ドラッグ」といいます。ウィンドウなどの大きさを変えたり、絵を描いたり、描いた絵を動かしたりするときに使います。



● ペイントでマウスの練習

ペイントが起動したところで、絵を描きながらマウスの使い方をもう一度練習しましょう。

Ⅰ マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かします(ドラッグ)。



はじめてペイントを起動したときには、ポインタが (鉛筆) の形になっています。このとき、マウスでドラッグすると、自由に線を引くことができます。ただ、やってみると分かりますが、これだけでは複雑な絵を描くのは難しいですね。心配することはありません。マウスできれいに線を描くのは、実は案外難しいのです。そこで今度は、きれいな図形を描いてみましょう。

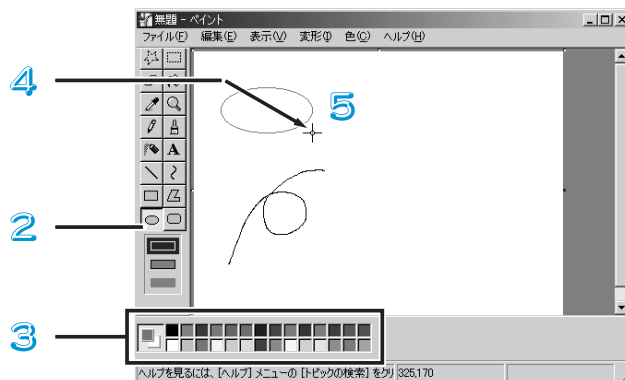
② 画面左側の (楕円) をクリックします。

③ 画面下側に表示されている色のうち、好きな色をクリックします。

④ 図形を描き始める位置にポインタを合わせます。

楕円を描くときは、ポインタは (十字) の形になっています。

⑤ マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かします。



選んだ色で楕円が描けたと思います。

● ファイルを保存する

さて、もっと絵を描いてもいいのですが、ここでこれまで描いた絵を保存しておく練習をしましょう。パソコンのいいところは、描いた絵を保存しておいて、あとでいつでも呼び出して使えるところです。

1 画面左上の「ファイル」をクリックします。

次のようなメニューが表示されます。



2 「名前を付けて保存」をクリックします。



次のような画面が表示されます。



③ キーボードを使って、いままで描いた絵につける名前を入力します。

ここでは例として「illust01」と入力します。[I][L][L][U][S][T][O][I]の順にキーを押します。はじめに「無題」という文字が反転して表示されていますが、そのまま入力して構いません。



④ 「保存」をクリックします。

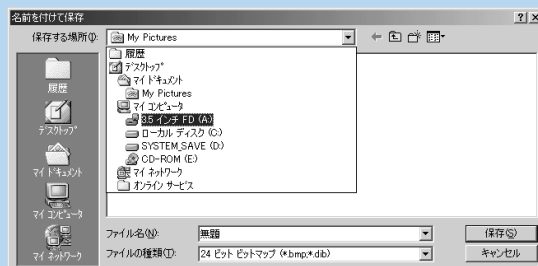
これで、これまで描いた絵が「illust01」という名前で保存されました。この「illust01」のように、パソコンで作ったデータを保存したものを「ファイル」といいます。

また、この例では、ファイルを「My Pictures」という場所に保存しました。ファイルを保存する場所は、上の図の「名前を付けて保存」画面のいちばん上に表示されています。あとでファイルを使うときのために、保存した場所を覚えておくようにしましょう。

● ディスケット(フロッピーディスク)に保存するには

ファイルをディスクに保存するには、次のようにします。市販のWindows用ディスク(フロッピーディスク)をご用意ください。

- 1 ディスケットをディスクドライブに入れます。ラベルを貼る面が右側になるように、ディスクに描かれている矢印の方向に入れてください。
- 2 「名前をつけて保存」の画面で、「保存する場所」の欄の右側にある  をクリックします。
- 3 「3.5インチFD(A:)」をクリックします。



あとは、上の手順と同じように保存できます。保存が終わり、ディスクドライブの横にあるランプが消えるまでは、ディスクを取り出さないでください。

● ファイルを開く

保存しておいたファイルを呼び出すことを、「ファイルを開く」といいます。

- ① 画面左上の「ファイル」をクリックします。
- ② 「開く」をクリックします。



次のような画面が表示され、保存してあるファイルが一覧で表示されます。ここでは、さきほど保存した「illust01」が表示されています。この画面の表示は、ソフトによって多少異なります。



- ③ 呼び出したいファイルをクリックします。

「ファイル名」の欄に、ファイルの名前が表示されます。



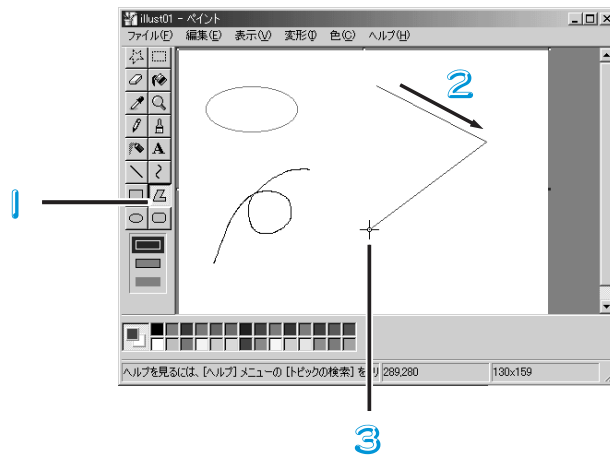
- ④ 「開く」をクリックします。

これで保存してあった絵が呼び出され、修正したり描き加えたりすることができます。

● マウスの練習の続き

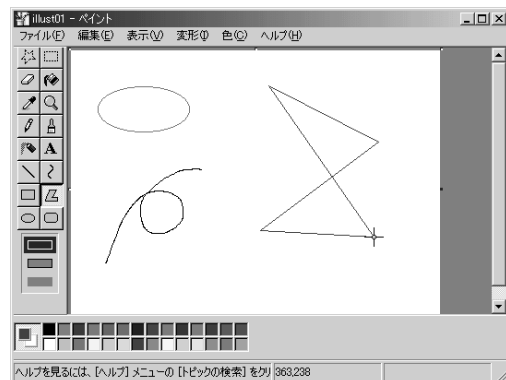
ファイルの保存が終わったところで、もう少しマウスの使い方を練習しておきましょう。

- 1  (多角形)をクリックします。
- 2 多角形の最初の一边にしたい位置をドラッグします。
- 3 多角形の次の角にしたい位置をクリックします。



ここまでは、いままでにやったことのある操作ですね。

- 4 多角形の最後の角にしたい位置にポインタを合わせます。
- 5 マウスの左ボタンをカチカチッと2回、続けてすばやく押します。



多角形が完成しました。この操作を、「マウスの左ボタンをダブルクリックする」といいます。1回目と2回目にボタンを押す間隔は、できるだけ短くしてください。間隔が開きすぎると、ダブルクリックになりません。

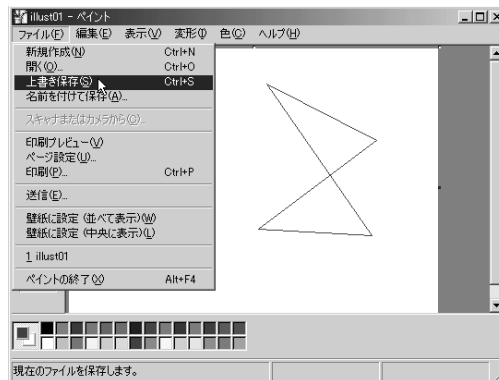
ダブルクリックは、画面上で何かを選ぶときなどによく使います。パソコンを使う上で大切な操作のひとつですが、慣れないとちょっと難しいので、ここでいくつか多角形を描いて、十分に練習しておいてください。

● 上書き保存

「クリック」「ドラッグ」「ダブルクリック」はできるようになりましたか？
それでは、これまで描いた絵を保存しましょう。

① 画面左上の「ファイル」をクリックします。

② 「上書き保存」をクリックします。

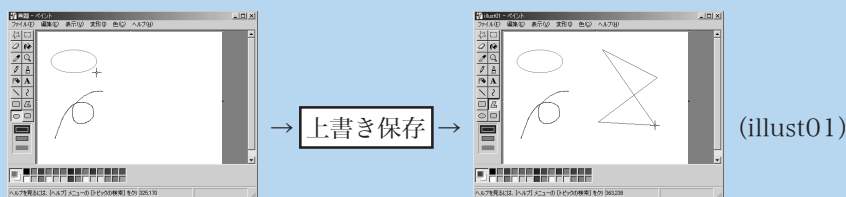


元の画面に戻ります。先ほど保存したときと違って、ファイルに名前をつける画面は表示されませんでしたね。「上書き保存」というのは、先ほど「名前を付けて保存」した「illust01」というファイルを、いま描いた多角形の絵のデータで書き替えるということです。

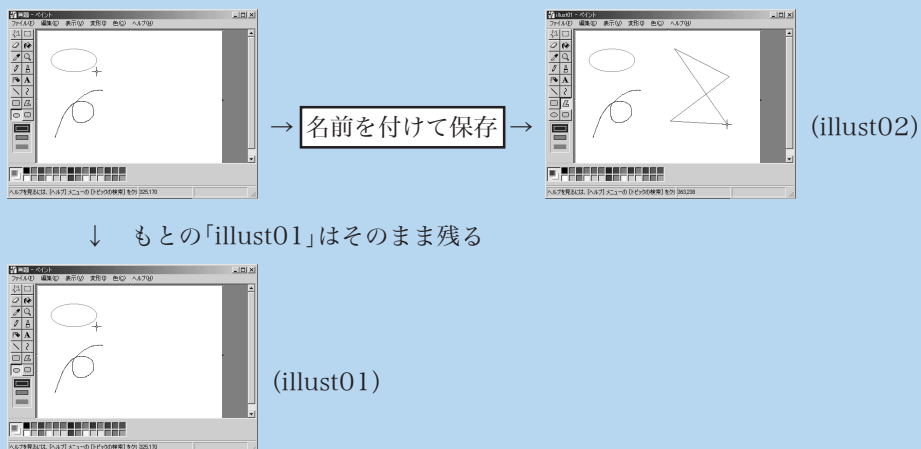
●「上書き保存」と「名前をつけて保存」

前の絵をとっておきたい場合は、もう一度「名前をつけて保存」を選んで、新しい絵に「illust02」のように別の名前をつけて保存してください。これを間違えると、必要なデータを消してしまったり、いらないデータがいくつもできてしまったりするので注意してください。

●上書き保存



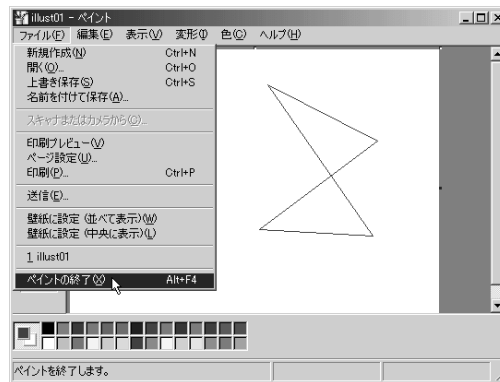
●名前を付けて保存



● ソフトを終了する

では、最後にペイントを終了しましょう。

- 1 画面左上の「ファイル」をクリックします。
- 2 「ペイントの終了」をクリックします。



ペイントのウィンドウが閉じます。これで、ペイントの操作は終わりです。

キーボードの練習

マウスが自由に使えるようになったら、今度は文字を入力する練習をしましょう。ここでは、「ワードパッド」というアプリケーションソフトを使ってみることにします。「ワードパッド」はWindowsに入っているアプリケーションソフトで、簡単な文書を作ることができるワープロソフトです。

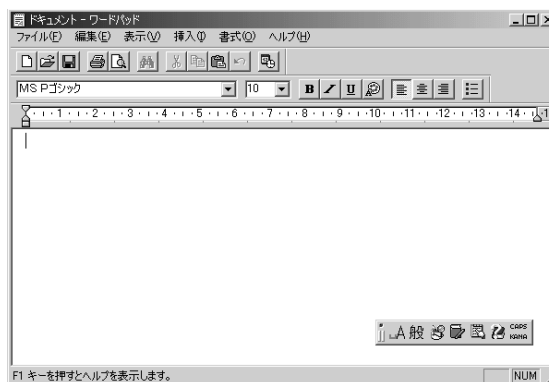
- 1 「スタート」をクリックします。
- 2 ポインタを「プログラム」に合わせます。
- 3 ポインタを「アクセサリ」に合わせます。
- 4 「ワードパッド」をクリックします。

マウスの操作は大丈夫ですか？分からなくなったら、この章の最初に戻って練習してください。



ヒント モデルによって、「アクセサリ」の位置は図と多少異なることがあります。

次のような画面が表示されます。

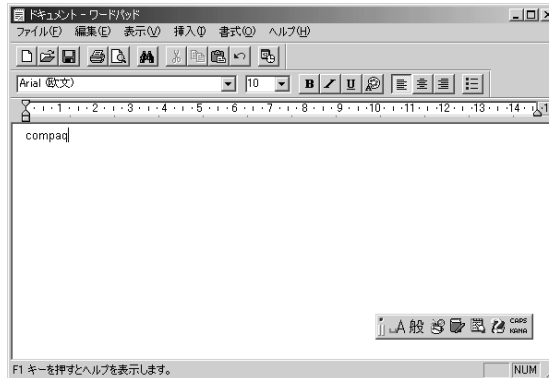


この画面が「ワードパッド」の画面です。図右下にある  は、実際にはワードパッドのウィンドウの外側にあるかもしれません。ここでは説明のため、このような画面を載せています。では、さっそく文字を入力してみましょう。

● 英字を入力する

① キーボードのキーを押します。

ここでは例として「compaq」と入力します。[C][O][M][P][A][Q]の順にキーを押します。



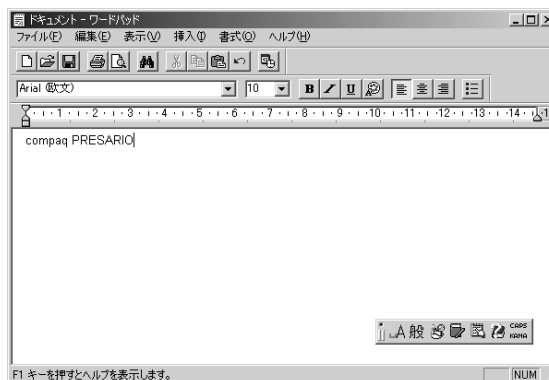
このように表示されましたか？次の文字を入力する前に、間隔を開けるためにスペース(空白)を入れましょう。

② スペースキーを押します。

スペースキーというのは、キーボードの手前中央にある、文字が何も書かれていないキーのことです。

③ [Shift]キーを押したまま、キーボードのキーを押します。

ここでは例として「PRESARIO」と入力します。[Shift]キーを押したまま、[P][R][E][S][A][R][I][O]の順にキーを押します。



今度は、大文字で入力されました。このように[Shift]キーを押したままキーを押すと、大文字が入力できます。次は、いよいよ日本語を入力してみましょう。

● 日本語を入力する

① [Enter]キーを2回押します。

これで、入力する行が変わります。ここでは、入力した文字が読みやすいように、1行空けておきましょう。入力する行を変えることを「改行」といいます。

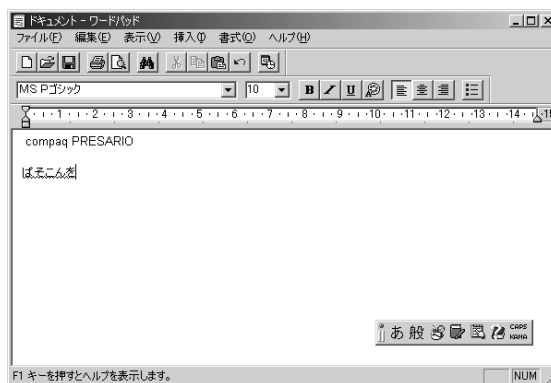
② [漢字]キーを押します。

が に変わります。これで日本語が入力できる状態になりました。この状態を「日本語入力オン」の状態といいます。もう一度[漢字]キーを押すと、アルファベットが入力できる状態に戻ります。この状態を「日本語入力オフ」の状態といいます。[漢字]キーを押すたびに、日本語入力のオンとオフが切り替わります。何度かやってみて、日本語入力オン状態にしておいてください。

③ キーボードのキーを押します。

ここでは例として、「パソコンを」と入力します。[P][A][S][O][K][O][N][N][W][O]の順にキーを押します。

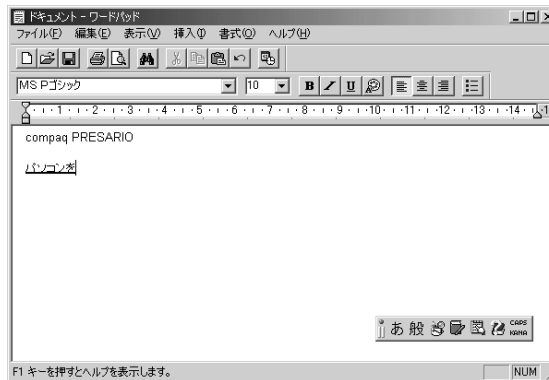
ヒント このように、文字の読みをローマ字で入力する方法を「ローマ字入力」といいます。パソコンの世界では、インターネットなどでアルファベットを使うことが多いので、ローマ字入力を覚えておくと便利です。この本の巻末に、ローマ字入力の規則表があります。このほか、キーに書かれているひらがなを使って入力する「かな入力」という方法もあります。かな入力の方法は、ここでは説明しませんので、市販の解説書などをご覧ください。



このように表示されます。ここではまだ「ばそこんを」となっています。入力した文字の下には波線が引かれています。

4 スペースキーまたは[変換]キーを押します。

文字の下の変線が実線になり、入力した文字が「パソコンを」と表示されます。

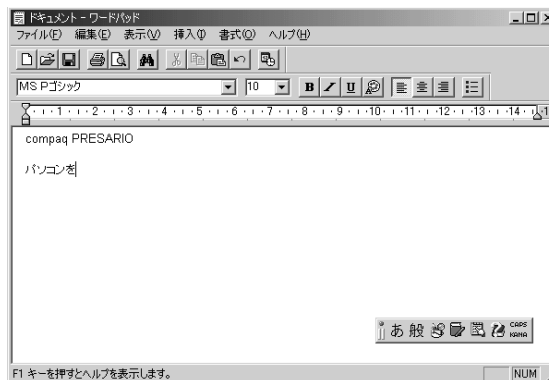


この操作を「文字を変換する」といいます。この状態では、まだ入力は終わっていません。これは、読み方が同じでも漢字が何種類かあるような場合に、入力する文字を選ぶためです。もし、「パソコンを」と表示されなければ、スペースキーまたは[変換]キーを何度か押して、「パソコンを」と表示されるまで変換します。

ヒント 文字の下の変線は「変換前」を、実線は「変換中」を表しています。この表示は、アプリケーションソフトや日本語入力システムの種類によって異なることがあります。

5 [Enter]キーを押します。

文字の下の実線が消えます。



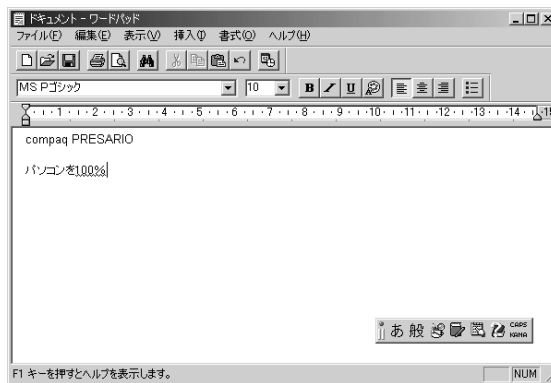
これで「パソコンを」と入力できました。このように、入力した文字をどのようにに変換するかを決めることを、「文字を確定する」といいます。

● 数字や記号を入力する

Ⅰ キーボードのキーを押します。

ここでは例として、「100%」と入力します。キーボードの右側にある、電卓型の数字キー(これを「テンキー」といいます)を使って、[1][0][0]の順にキーを押します。

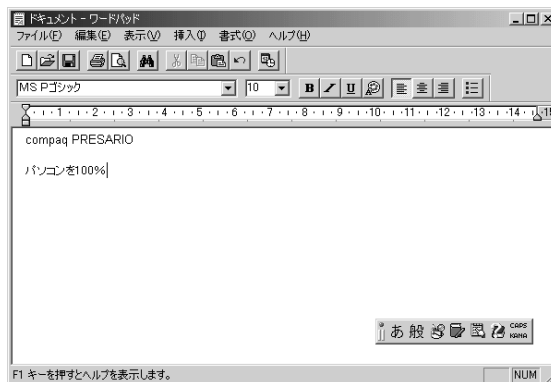
次に、[Shift]キーを押しながら[%]キーを押します。キーの上側に書かれている記号を入力するときは、[Shift]キーを押しながらキーを押します。[Shift]キーを押していないと、キーの下側に書かれている文字(たとえば[%]キーなら数字の「5」)が入力されてしまいます。



重要 インターネットのURLやメールアドレスなどを入力する場合は、数字や記号は必ず日本語入力をオフにしてから入力してください。

Ⅱ [Enter]キーを押します。

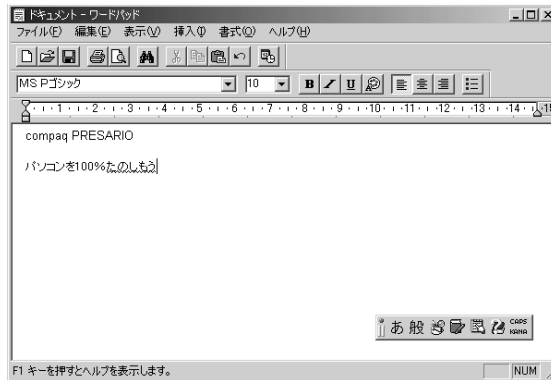
ここでは文字を変換する必要がないので、そのまま[Enter]キーを押します。日本語入力がオンになっているときは、変換の必要がなくても[Enter]キーを押して文字を確定しなければなりません。



● 漢字を入力する

① キーボードのキーを押します。

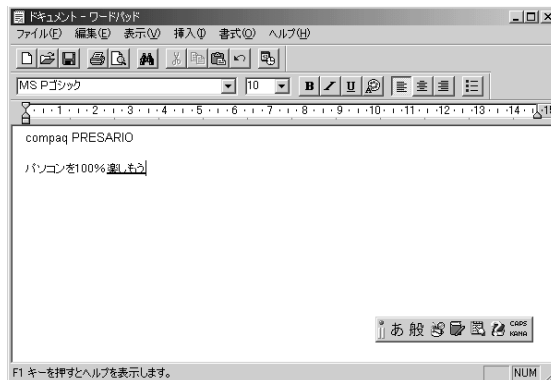
最後は漢字の入力です。ここでは例として、「楽しもう」と入力します。[T][A][N][O][S][I][M][O][U]の順にキーを押します。



② スペースキーまたは[変換]キーを押します。

次のように表示されます。「楽しもう」と表示されましたか？

もし、違う漢字が表示されても、あわてることはありません。パソコンに入っている日本語入力システムは、変換した漢字を覚えています。ですから、以前にほかの漢字を入力したことがあれば、その漢字が表示されることもあるのです。ここでは、変換される文字は毎回同じとは限らない、ということ覚えておくとよいでしょう。



ここで、ほかの漢字を入力したいときはどうすればいいか、練習しておきましょう。

③ もう一度、スペースキーまたは[変換]キーを押します。

次のように表示されます。これが変換できる文字の候補です。スペースキーまたは[変換]キーを押すたびに、候補が切り替わります。ここでも、候補の順番は毎回同じとは限りません。



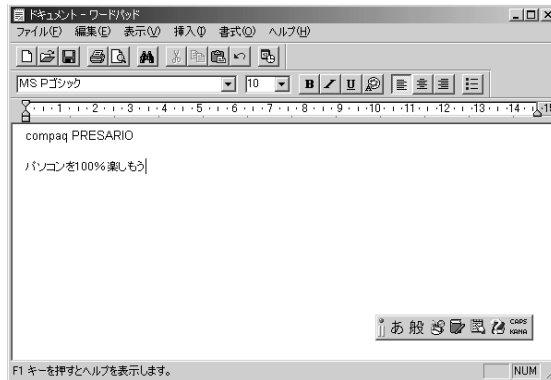
④ 変換したい文字が反転表示されるまで、スペースキーまたは[変換]キーを押します。

ここでは、上の画面からスペースキーまたは[変換]キーをさらに何回か押して、「楽しもう」を反転表示させます。



⑤ 変換したい文字が反転表示されている状態で、[Enter]キーを押します。

これで「楽しもう」と入力した文字が確定しました。



● ファイルを保存する

ここで、これまで書いた文章を保存しておきましょう。ペイントのところでもやった操作ですね。

- ① 画面左上の「ファイル」をクリックします。
- ② 「名前を付けて保存」をクリックします。



次のような画面が表示されます。



③ キーボードを使って、いままで書いた文章につける名前を入力します。

ここでは例として「文字の練習」と入力します。文字の入力のしかたは、ワードパッドで文字を入力するのと同じです。

はじめに「ドキュメント」という文字が反転して表示されていますが、そのまま入力して構いません。



④ 「保存」をクリックします。

これで、これまで書いた文章が「文字の練習」という名前で保存されました。

ペイントのときとは違って、「マイ ドキュメント」という場所にファイルが保存されたことに注意してください。

● ソフトを終了する

では、最後にワードパッドを終了しましょう。これも、ペイントのところでやったのと同じ操作です。

① 画面左上の「ファイル」をクリックします。

② 「ワードパッドの終了」をクリックします。



ワードパッドのウィンドウが閉じます。これで、ワードパッドの操作は終わりです。

練習が終わったら

マウスの使い方、キーボードからの文字入力のしかたは分かりましたか？慣れないうちは、何度も練習してみてください。マウスとキーボードが使いこなせるようになれば、パソコンがぐっと身近に感じられるはずです。

さて、マウスとキーボードの練習が終わったら、やっておいていただきたいことがいくつかあります。ここまでの操作が自由にできるようになれば、それほど難しくはありません。ぜひ早めにやってみてください。

●Windowsの起動ディスクを作る

何らかのトラブルでWindowsが起動しなくなってしまったときに役立ちます。

別冊の「プレサリオステップアップ」の「5 Windowsの使い方」にある「起動ディスクを作る」をご覧ください。

●ユーザー登録をする

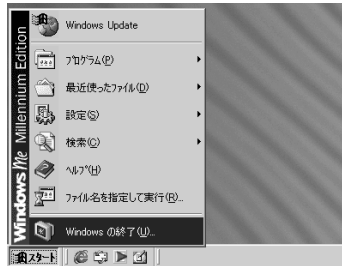
コンパックでは、お客様へのさらに充実したサポートのため、ユーザー登録をお願いしています。ユーザー登録は、インターネットを通じてオンラインで行うことができます。

別冊の「プレサリオステップアップ」の「3 インターネットガイド」にある「ユーザー登録のしかた」をご覧ください。

電源をオフにする

パソコンを使わないときは、次の手順で電源をオフにしてください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「Windowsの終了」をクリックします。



次の画面が表示されます。



- 3 「次の中から選択してください。」の欄に「終了」が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、[▲][▼]キー（矢印キー）を押して、「終了」を表示させます。
- 4 「OK」をクリックします。

パソコンの電源が自動的にオフになります。

次にパソコンの電源をオンにするときには、本体の電源ボタンを押します。

ローマ字入力規則表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI(SHI)	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI(CHI)	TU(TSU)	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU(FU)	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や	い	ゆ	いえ	よ
YA	YI	YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うい	う	うえ	を
WA	WI	WU	WE	WO
ん				
NN				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI(JI)	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
きゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
じゃ	しい	しゅ	しえ	しょ
SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
(SHA)		(SHU)	(SHE)	(SHO)
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちょ
TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
(CHA)		(CHU)	(CHE)	(CHO)
(CYA)	(CYI)	(CYU)	(CYE)	(CYO)

にや	にい	にゅ	にえ	によ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
ZYA	JYI	JYU	JYE	JYO
(JA)		(JU)	(JE)	(JO)
(JYA)	(JYI)	(JYU)	(JYE)	(JYO)
ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
てゃ	てい	てゅ	てえ	てよ
THA	THI	THU	THE	THO
ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふよ
FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ふぁ	ふい	ふ	ふえ	ふぉ
FA	FI	FU	FE	FO
ヴぁ	ヴい	ヴ	ヴえ	ヴぉ
VA	VI	VU	VE	VO
ぁ	い	う	え	お
LA	LI	LU	LE	LO
ゃ	い	ゆ	え	よ
LYA	LYI	LYU	LYE	LYO

この表の内容は、日本語入力システムとして MSIME を使用している場合のものです。

